



平成 28 年 8 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社タカショー  
代表者名 代表取締役社長 高岡 伸夫  
(JASDAQ・コード7590)  
問合せ先 執行役員  
経営管理本部副本部長 井上 淳  
(電話：073-482-4128)

## 営業外費用（為替差損）の計上、平成 29 年 1 月期第 2 四半期及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 1 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 28 年 1 月 21 日～平成 28 年 7 月 20 日）の決算において、営業外費用（為替差損）の計上を見込むとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 3 月 4 日に公表した平成 29 年 1 月期第 2 四半期（累計）及び通期の連結業績予想並びに配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 営業外費用（為替差損）の計上

昨今の為替相場の変動（円高）により、平成 29 年 1 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 28 年 1 月 21 日～平成 28 年 7 月 20 日）において為替差損 405,481 千円を営業外費用に計上する見込みであります。これは主に外貨建資産に対する為替差損であります。

なお、営業外費用（為替差損）の計上による業績への影響につきましては、下記「2. 業績予想の修正」に織り込んでおります。

#### 2. 業績予想の修正

平成 29 年 1 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想の修正（平成 28 年 1 月 21 日～平成 28 年 7 月 20 日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する四半 期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	9,777	540	496	294	23.94
今回修正予想 (B)	9,333	481	77	15	1.30
増減額 (B-A)	△444	△59	△419	△279	—
増減率 (%)	△4.5	△10.9	△84.5	△94.9	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 1 月期第 2 四半期)	9,675	525	546	326	26.60

平成 29 年 1 月期通期連結業績予想の修正（平成 28 年 1 月 21 日～平成 29 年 1 月 20 日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する当期 純利益 (百万円)	1 株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	18,311	785	724	362	29.48
今回修正予想 (B)	17,570	700	251	115	9.37
増減額 (B-A)	△741	△85	△473	△247	—
増減率 (%)	△4.0	△10.8	△65.3	△68.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 1 月期)	17,853	722	597	240	19.63

<修正の理由>

当第 2 四半期連結累計期間の業績においては、住宅着工数が低水準ながら増加基調となっている中、当社プロユース部門の売上高は、ショールームの整備等による販売促進の強化やアルミ製人工木「エバーアートウッド」関連商品等の販売強化により、前年より増加し計画通りで推移しております。

一方で、当社ホームユース部門においては、ホームセンター市場全体の売上高が伸び悩む中、デッキ関連商品ならびにソーラーライト関連商品の新商品を投入したことにより販売が増加したものの、取引先における在庫調整等の影響で木製品関連商品の販売が減少したことにより、当初予想の売上高を下回る見込みとなりました。

また、海外展開におきましては、売上拡大を目的としてグローバルスタンダードアイテム（海外販売商品の定番化）を進める中、前年より新規連結となった販売子会社が順調に売上を伸ばすものの、ヨーロッパの異常気象の影響やその他地域における得意先の発注時期の遅れ等の影響により当初予想の売上高を下回る見込みとなりました。

営業利益においては、販売費及び一般管理費が減少したものの売上高の減少の影響により計画を下回る見込みとなっております。さらに為替変動の影響により経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、前回予想値よりも減少する見込みであります。

通期の業績におきましては、第 2 四半期連結累計期間の業績の影響によるものと、下期に入り円高基調で為替が推移すると予想することから、外貨建て債権の時価評価における為替差損の増加ならびに海外子会社の業績の邦貨換算による減少により、当初予定の利益水準は下回るものの、当社グループでは国内においてエクステリア市場向け新商品の投入およびショールームの整備等、販売活動の強化ならびに新工場の建設等、製造設備の拡大を図って参ります。さらに海外においては、自社工場の生産体制の強化により海外市場への売上拡大、利益向上に向け邁進して参ります。

### 3. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (平成28年3月4日公表)	円 銭 0 00	円 銭 12 00	円 銭 12 00
今 回 修 正 予 想	0 00	6 00	6 00
当 期 実 績	— —	— —	— —
前 期 実 績 (平成28年1月期)	0 00	17 00	17 00

#### <修正の理由>

平成29年1月期の期末配当予想につきましては、当社では株主の皆様への利益還元を重要な経営課題のひとつと考えており、年間配当性向30%を目標としておりますが、通期連結業績予想を上記のとおり下方修正したことに伴い、誠に遺憾ではございますが、期末配当予想を1株当たり6円へと修正させていただきます。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は当社を取り巻く様々な要因により予想値と異なる場合があります。

以 上